

政治の課題は
格差と貧困解消

参院選 終わる 改憲議席許さず！課題は格差と貧困解消 総選挙に向け野党統一候補者調整を

第25回参議院選挙が終わった。安倍政権の下では改憲は許さないと意思が発揮され、ついに参議院は改憲議席が2/3未満となった。しかし、油断はできない。すでにNHKから国民を守る党はスクランブル放送に協力が得られれば改憲に賛成すると表明している。選挙前からこの結果を予測して安倍首相は国民民主党分断の発言を繰り返していた。

それにしても投票率が大きく低下し、全国の選挙区で48.80% (5.90ポイント減) 千葉県で45.28% (同6.74ポイント減) 野田市は何と41.99% (同2.32ポイント減)。政治への期待がこれほど下がってしまったのは民主主義が正常に機能しない。国民主権の空洞化がいつそう進んだといえる。

今回の千葉選挙区選挙は市民と野党の目標は立憲野党で2議席を確保しようというものだった。3位争いが焦点となったが、投票率が大きく下がる中で自民党の2議席を許すことになった。

一方、比例区では社民党の政党要件確保が一つの焦点だったが、2.09%とかがろうじて守ることができた。ただ、野田市や県内では2%未満に終わっている。

また、れいわ新選組が当初無謀

表1 千葉選挙区結果

順位	候補者名	野田市		千葉県	
		得票数	得票率	得票数	得票率
1	石井準一 (自民党)	21,014	40.31	698,993	30.48
2	長浜博行 (立憲民主党)	14,541	27.89	661,224	28.83
3	豊田俊郎 (自民党)	5,498	10.55	436,182	19.02
4	浅野史子 (日本共産党)	8,363	16.04	359,854	15.69
5	平塚正幸 (NHKから国民を守る党)	1,819	3.49	89,941	3.92
6	門田正則 (安楽死を考える会)	895	1.72	42,643	2.02
得票総数		52,130		2,288,837	

表2 比例区結果

順位	政党名	野田市		千葉県	
		得票数	得票率	得票数	得票率
1	自由民主党	18,001	33.89	846,469	36.31
2	立憲民主党	10,454	19.68	465,886	20.00
3	公明党	9,374	17.65	328,287	14.08
4	日本共産党	5,300	9.98	218,442	9.37
5	日本維新の会	2,894	5.45	144,213	6.19
6	れいわ新選組	2,304	4.34	109,939	4.72
7	国民民主党	2,126	4.00	98,545	4.23
8	社会民主党	1,010	1.90	35,452	1.52
9	NHKから国民を守る党	954	1.80	47,331	2.03
10	安楽死制度を考える会	334	0.63	16,481	0.71
11	オリーブの木	174	0.33	7,883	0.34
12	幸福実現党	125	0.24	6,162	0.26
13	労働の解放をめざす労働者党	71	0.13	3,001	0.13
得票総数		53,122	—	2,328,091	—

と思われたが、突き出た政策や多様な当事者を候補者にしたこと、山本太郎代表のパフォーマンスの巧みさと真摯さで、2議席を確保し、国政政党となった。

同じく国政政党となったNHK

から国民を守る党は代表が極右であり、今後が危惧される。

今回市民と野党の共闘で統一候補を出したところは10勝した。次の衆院選めざしてすぐに小選挙区での調整を進めることが重要だ。

柏市議選 定数を 12 名超える激戦 本池後継の小川かずよし必死に選挙戦

任期満了に伴う柏市議選が 28 日告示され、定数を 12 名越える 48 名が立候補した。

新社会党は 9 期勤めた本池奈美枝市議が引退し、公認新人の小川和良（51 歳）が立候補した。

小川候補は逆井さかさい生まれの逆井育ちだが、立候補表明からわずか 1 ヶ

月という時間のなさ、同じ地域に前回市議選で 1 位と 2 位の当選議員がいる厳しさがある。

知名度不足の新人がその壁を破るには前回の 35.25% の投票率をいかに引き上げるかが大きな課題だ。引き続き小川候補にご支援を。



出発式で決意を述べる小川候補



候補者カーで手を振る小川候補

29 年で平和大使事業ができた

ピースサイクル 2019 千葉ネットワーク（常磐線ルート）が 7 月 11 日に野田市役所を訪れ、放射能



ピースメッセージを受け取る

問題や再生可能エネルギーの取り組み、平和施策など 6 点 29 項目の質問に対して市から回答が示され、ピースサイクル側から質疑が行われた。

また、市長名で「人権の尊重、恒久平和の実現については、いつの時代でも人類共通の課題であり、願いである」とのピースメッセージがピースサイクルに手渡された。

各自治体が保育士確保に躍起

保育士不足で確保策に悩む各自治体は民間保育士等の合同説明会を相次いで開催する。東葛 6 市の説明会チラシを見ると、やはり、給与との加算が目玉だ。民間保育士

の給与上乗せ状況は表 3 のようになっている。これは正規保育士の例だが、臨時保育士にも条件によって上乗せがある。

給与だけではなく家賃補助など多様な支援制度を設けているが、保育士確保は多難となっている。野田市も保育士不足のために待機児童が増えるという悩みが尽きない。

しかし、雇用環境の悪化、賃金の低下に伴い、共働き等

この日も含め、2 日間で 8 自治体（野田市、流山市、柏市、松戸市、我孫子市、印西市、白井市、鎌ヶ谷市）を訪問したピースサイクルは、「29 年前に始めたときはなかった小中学生の広島・長崎に派遣する平和大使の取り組みが、流山市（小学生広島 30 名）、松戸市（中学生、長崎 50 名）、我孫子市（中学生、長崎 12 名）、白井市（中学生のヒロシマへの修学旅行 1 校）、鎌ヶ谷市（中学生、長崎に 5 名）と広がった」と総括している。

が当たり前になっている中で、保育所を増やしても保育士が確保できない悩みは尽きない。

保育士は全産業平均と比べて月額 10 万円低いといわれており、特に民間保育所は給与制度などの労働条件が不十分で、保育士の勤続年数は短い。

保育士には子育て専門職として誇りが持てる雇用環境とゆとり、賃金改善はどうしても必要だ。

表 3 民間保育士給与加算額

自治体	月額上乗せ
野田市	2 万円
柏市	4 万円
流山市	4 万 3 千円
我孫子市	4 万 5 千円～5 万 5 千円
松戸市	4 万 5 千円～7 万 2 千円
鎌ヶ谷市	3 万円